

令和 6 年度第 1 回高津区地域福祉計画推進会議 議事録

(敬称略)

開催日時	令和 6 年6月7日(金)午後 1 時 00 分から 2 時45分まで
開催場所	高津区役所 5 階 第 1 会議室
出席者の氏名	<p>委員</p> <p>大島 隆代(文教大学人間科学部人間科学科准教授) 木下 俊之(高津区医師会理事) 若林 豊茂美(高津区民生委員児童委員協議会常任理事) 栗田 栄治(高津区社会福祉協議会常任委員会委員) 高橋 準三(高津区全町内会連合会会計監査) 小冷 静江(高津区主任児童委員) 佐藤 幸二(ひさすえ地域包括支援センター主任介護支援専門員) 脇本 靖子(川崎市男女共同参画センターすくらむ 21 館長) 小川 尚人(川崎市中部基幹相談支援センター長) 小山 憲治(市民公募)</p>
	<p>事務局</p> <p>中山 路都 (地域ケア推進課長) 上野 聡子 (地域ケア推進課係長) 中島 叡 (地域ケア推進課職員)</p>
	<p>関係職員</p> <p>神林 高之(地域みまもり支援センター所長) 鈴木 宣子(地域みまもり支援センター副所長) 澁谷 倫子(地域みまもり支援センター担当部長) 山田 敦(地域みまもり支援センター地域支援課長) 野口 聡(地域みまもり支援センター児童家庭課長) 宮川 真理子(地域みまもり支援センター高齢・障害課長) 徳丸 千大(地域みまもり支援センター保護第2課長) 香川 貴則(地域みまもり支援センター衛生課長) 飯沢 すみ江(地域みまもり支援センター保育所等・地域連携担当課長) 倉賀野 滋(地域みまもり支援センター学校・地域連携担当課長) 上條 敦(危機管理担当課長) 星 和明(まちづくり推進部企画課長) 永田 泰雄(まちづくり推進部地域振興課長) 坂尾 康章(まちづくり推進部生涯学習支援課長)※代理出席:水野担当係長 谷口 賢一(道路公園センター協働・利活用推進担当課長)</p>
欠席委員	岸野哲(高津区老人クラブ連合会会長)
議 題	(1)高津区地域福祉計画推進会議について (2)第 6 期高津区地域福祉計画の評価について (3)第 7 期高津区地域福祉計画について
傍聴人の数	0名

配付資料	① 次第 ② 座席表 ③ 資料 1 高津区地域福祉計画推進会議について ④ 資料 2 第 6 期高津区地域福祉計画(令和 3～5 年度)・令和5年度評価 ⑤ 資料 3 第 7 期高津区地域福祉計画の具体的な取組について ⑥ 【参考資料 1】第 6 期高津区地域福祉計画(概要版) ⑦ 【参考資料 2】第 6 期計画における具体的な取組 ⑧ 【参考資料 3】第6期各区地域福祉計画(令和3～5年度)における評価に係る考え方について ⑧ 【参考資料 4】高津区地域福祉計画推進会議 委員名簿 ⑨ 【参考資料 5】高津区地域福祉計画推進会議 行政職員名簿 ⑩ 【参考資料 6】高津区地域福祉計画推進会議開催運営等要綱 ・第 7 期高津区地域福祉計画 本冊子 ・第 7 期高津区地域福祉計画 概要版
------	---

【発言内容】

発言者	発言要旨
事務局	事務局から開会の挨拶 事務局から会議公開、会議録の作成と公開について説明
神林所長	神林所長から挨拶
事務局	議事1 高津区地域福祉計画推進会議について 【資料1】に基づき、高津区地域福祉計画推進会議の位置づけについて、説明
木下委員	本会議の委員について、昨年度は、19名だったと思いますが、今年度は12名(うち1名欠員)となっており、医療関係者の歯科医師会と看護師会が外れた経緯を教えてくださいと思います。
事務局 上野係長	会議の人数については、昨年度見直しを行った。詳細の経過等については、人事異動等もあり、把握しきれていないため、確認させていただきたいと思います。
事務局	議事2 第 6 期高津区地域福祉計画の評価について 【資料2】に基づき、第6期高津区地域福祉計画の令和5年度評価、令和3年度～年度の総評について、説明
(意見なし)	
事務局	議事3 第 7 期高津区地域福祉計画について 【資料3】に基づき、第7期高津区地域福祉計画の概要、第7期高津区地域福祉計画における重点項目の令和6年度の具体的な取組について、説明
(意見なし)	
事務局 中山課長	以上ですべての議事は終了となりますが、全体を通して御意見等ありますか。

発言者	発言要旨
高橋委員	資料の綴じ方についてですが、A3 横の資料であれば両面の場合は、短辺綴じの方が見やすいと思いました。
事務局 中山課長	申し訳ありません。検討させていただきます。
大島委員	<p>私は大学で地域福祉論を教えています、とても難しいと思いながらいつも学生達に伝えています。なぜかと言うと、地域を良くしていくためにはどうしたら良いかを考えるときに、地域には様々な人が暮らしている中で、みんなで考えないといけないためです。先ほど、第 6 期高津区地域福祉計画の評価について、「目標をほぼ達成」とご報告がありましたが、なんでこの評価何だろうと思った方もいたのではないのでしょうか。というのも、この地域福祉計画の評価は、とても難しいんですね。例えば、生活困窮の方が相談できる窓口を作ったとして、去年は 10 件だったものが、今年は 100 件だったとします。見方によっては、相談が増えたから良い評価とは言い切れず、たくさん困窮の人がいたのに、今まで何もできなかったという評価もでき、見方によって異なってくるかと思えます。評価については、厚生労働省から出されている計画のガイドラインを見ると、しっかりと評価して次の計画につなげることとされていますので、高津区地域福祉計画についても、数字とするのか、市民の声がいいのかなど、どのような評価項目が良いか、一緒に考えていけると良いと思いました。</p>
事務局 中山課長	大変貴重な御意見ありがとうございました。評価につきましては、事務局の方で検討させていただきたいと思いますが、委員の皆様の御意見もいただきながら、工夫した形でお示しできればと思います。
小川委員	<p>本日配布されている第7期高津区地域福祉計画概要版の裏面に「ライフステージ(世代)に合わせた事業・取組」とありますが、これを見ると自分の年代では、こういった取組があるのか、とても分かりやすいと思いました。そこで興味関心に引っかけられるものがあれば、そこが一つのきっかけづくりになると思いました。また、内容についてですが、50台が少ないと思いました。重点項目1の中で触れられている40台後半～50台前半の団塊ジュニア世代が、10年後 20 年後にしっかりと健康で生活できるよう、健康への意識づくり、精神衛生的な取組であるとか、生きがいを持って生活していけるよう退職よりも前のこの時期から、自分自身の時間を持てる人が自分に時間が使えるような取組について、この健康づくりの推進のところでできると良いと思いました。</p> <p>また、資料3の「12番 障害者の社会参加に関する学習機会の取組」の「ふれんど高津」についてですが、参加している方が固定化されているのではないかなと、思っており、もったいないと思います。障害のある方の相談支援を行う中で、社会とつながることは非常に大事でありその1つの取組として、こういう場があるのであればぜひ活かしていきたいと思っておりますが、「ふれんど高津」の活動内容の情報が入ってこないため、障害者相談支援センターの方にも情報共有をしていただけるとありがたいと思います。</p>

発言者	発言要旨
水野係長	<p>貴重な御意見ありがとうございました。「ふれんど高津」につきましては、年齢層が高くなっており、最高齢で60代、若い方で20代の方に御参加いただいています。また、中央支援学校の卒業生に向けては「ふれんど高津」の御案内をしており、入っていただける方はいるのですが、プログラムが運動機能に関する事で比較的年齢層が高い方向けになっているため、若い方にとっては少し物足りないというお声もいただいていますので、本日いただいた意見も踏まえながら、検討していきたいと思っております。</p>
若林委員	<p>色々な事業を考えていただいていると凄いなとは思いますが、子どもは子ども、シニアはシニア、障害者は障害者と、それぞれ区別されていて、それぞれが交流するような取組が見当たらないと思うんですね。今日も午前中に保育園へ行き、栗田委員などもお連れして畑の手入れ等を行ってきましたが、子どもたちと色々な人に声をかけてくれるんですね。子育て世代だってシニアの方だって、様々な人と交流すると色々な刺激をもらうと思います。そうした交流を通して世の中にはこういう人もいるんだと、障害をお持ちの方にはこういった対応をするのがいいんだと、そうした様々な情報を持つことができ、少しでも知識があれば、適切な対応にもつながると思います。一人でもそういう対応をできる方たちが増えることで良い街ができると思うので、様々な講座があることはいいことだと思いますが、それぞれが交わるようなものも考えていただくと良いかなと思いました。</p>
栗田委員	<p>今お話がありましたとおり、今日は保育園に行き、木の枝を通すことや間引くことなどを楽しくやったのですが、それ以上のことを体験させてもらえたと思いました。また、私は、高津第1地区社協の会長もやっていますが、うちの地区社協では、高齢者の歩こう会と保育園の子どもたちと一緒に活動をしたり、祭りの手伝いをしたりしています。色々なところで感じるのですが、例えば、ある保育園では、誕生日などに腹話術やマジックなどを安くできる人を探しているが、どこに相談すればいいかわからないといったことがあります。地域では、いろいろな人を探しているが、誰に話をすればいいかわからないといったこともありますので、そういった話も拾っていただければ大変助かると思います。</p>
木下委員	<p>第6期高津区地域福祉計画推進会議の委員だった方で今期委員となっていない方に対して、冊子は配布されていますか。</p>
事務局 中島職員	<p>配布します。</p>

発言者	発言要旨
事務局 中山課長	<p>その他よろしいでしょうか。本日は、大変貴重な御意見いただきましてありがとうございます。これまでは、コロナ禍というのもあって、子どもは子ども、高齢者は高齢者といったように、それぞれの分野別でずっとやってきたところもありましたが、コロナウイルスも5類に移行し、地域包括ケアはみなさんが一緒にやっていくということが最終目標でもありますので、新しい計画のもと、全体で何かやっていけるようなものも考えていければと考えておりますので、皆様の御協力もお願いしたいと思っておりますので今後ともよろしくお願いいたします。これをもちまして、令和6年度第1回高津区地域福祉計画推進会議を閉会いたします。</p>